

地域で支える安全安心なまちづくり事業 - まちの保安官制度



提案者	特定非営利活動法人 西大津駅周辺防犯推進協議会
県行政	青少年室・県民生活課
警察本部	生活安全企画課・大津署
大津市	自治振興課・都市再生室
コーディネイター	石井布紀子氏（H18～）
オブザーバー	淡海ネットワークセンター（H18～）

- 課題認識
- ・現在の自主防犯組織では、防犯活動の実効性に限界がある。
 - ・志気の低い自主防犯活動では効果が低い。
 - ・同じ地域で消防団と防犯組織の位置づけに違いがある。
 - ・行政からの補助（期間限定）がなくなると継続的な活動が困難。

- 目 標
- ・各地域で自主防犯活動を実効性のあるものにしていくため、警察官との役割分担を明確にしながら、まちの保安官制度の創設を検討する。
 - ・県民の犯罪に対する不安感や犯罪認知件数の低減につながるような、自主防犯活動を支援・促進する仕組みを検討する。

- 課 題 等
- ・現法規上は職務質問権等の民間人への権利付与は困難。
 - ・自主防犯組織が担う領域とその財源について検討し、その上で西大津だけでなく他地域でも使えるレベルに応じた仕組みの検討。
 - ・先進地域の事例調査。
H17 **山梨県富士河口湖町へ現地調査**
 - ・防犯活動に関する傷害保険の研究検討。
H17 **2社と意見交換**
 - ・マスコミ取材や報道でNPOが先行したため急きょ対応方法を共有した。
H17 **決めたルールにそって外部に提供する情報はNPO活動促進室と調整しながら実施**

- 実績・予定
- ・17年度：保安官制度・防犯保険の検討
 - ・18年度：7～8月 自主防犯組織（県内126団体）と地域住民を対象にアンケート調査実施
他団体との意見交換
 - ・19年度：新たな仕組みをモデル的に実施・検証
通常施策への反映調整

【活動経過】

H17年度

第1回（H17.8.29 県合同庁舎多目的室 参加14名）

- ・課題認識について
- ・目指す姿について
- ・運営方法について

第2回（H17.9.20 県合同庁舎多目的室 参加12名）

- ・会議の情報公開について
- ・第1回からの意見確認について
- ・目標設定について

第3回（H17.10.26 県合同庁舎5-D会議室 参加14名）

- ・小出東大教授との意見交換会

第4回（H17.11.24 県合同庁舎6-A会議室 参加14名）

- ・防災ボランティア保険・青色回転灯や保安犬の運用・権限に係る規制や法的解釈

県外現地調査（H18.1.10～11 山梨県富士河口湖町 参加3名）

- ・防犯パトロール車・地域安全情報共有システム

第5回（H18.1.18 しが協働ル～ム 参加11名）

- ・防犯ボランティア保険・県外調査報告
- ・青色回転灯や保安犬によるパトロール実施予定・今後の取り組み

第6回（H18.1.18 しが協働ル～ム 参加11名）

- ・防犯ボランティア保険・県外調査報告

第7回（H18.3.6 しが協働ル～ム 参加11名）

- ・今年度の取り組みのふりかえり

* 内閣府都市再生プロジェクト「防犯対策等まちづくりの連携協働による都市の安全・安心の再構築」（新たな仕組みの構築や実験的手法の展開）17年度選定案件

H18年度

第8回（H18.4.20 しが協働ル～ム 参加17名）

- ・18年度の進め方の確認

第9回（H18.5.24 しが協働ル～ム 参加12名）

- ・目標設定について
- ・アンケート調査について

次回以降（6.27）月1回程度開催予定

つながる・かがやく・かわる

～しが環境学習推進ネットづくりプロジェクト



提案者	特定非営利活動法人 NPO子どもネットワークセンター天気村 琵琶湖博物館はしかけグループ びわたん
県行政	エコライフ推進課（環境学習支援センター） 公募職員 5名（行政経営改革室・人権施策課・自然環境保全課・ 環境管理課・地域振興局森林整備課）

- 課題認識**
- ・環境学習プログラムは各機関や所属で連携なくバラバラ実施していることが多く、学習者にとってもどれを選択すればよいのかわかりにくい。
 - ・プログラムに参加しても学習者の力（生きる力）になっていない。
 - ・参加者が限られており広がりが見られない。

- 目 標**
- ・環境学習を環境だけの視点で捉えるのではなく、防災や福祉など多分野と絡らめて身近感、ワクワク感のある身に付くモデルプログラムを実施する。
 - ・各施設や各県所属で実施している事業について、連携メリットのある取り組みを結びつける。
 - ・既存プログラムに対する関心を高めるため、提供者と学習者が共に使えるようなプログラムの質を表す物差し(例レダ-チャート、シート)を開発し普及を図る。

- 課 題 等**
- ・環境学習をめぐる課題認識にズレ（行政の縦割り、施設間の連携が少ない、プログラムが力になっていない等）がある。
 - ・協議を十分にしたい行政と、早く実行に移したいNPOという構図。

取り組み目標を手法や分野によって3つに班分け

- ・防災を取り入れた環境学習プログラム実施・・・この指とまれ班
(H18.5.6 モデル事業をPR版として草津で実施)
- ・環境学習関連施設間の連携事業実施・・・かごめかごめ班
- ・県庁内の連携・調整（マネジメント）実施・・・はじめての一步班
(H18.5.23 庁内連絡会議でワークショップを実施)

- ・部員間のチーム意識は醸成されつつある。

班分けしたことによって取り組み目標が明確になり、自発的な関わりがある

環境学習支援センターは必要に応じ参加（2回）

- 実績・予定**
- ・17年度：モデル事業の企画立案・調整 関係機関等への聞き取り調査
 - ・18年度：環境防災モデルプログラムの地域（小学校区程度）での実施検証
「環境学習のつどい」（12月：エコライフ推進課主催）への出席
「(仮)環境学習屋台村」の実施検証（上記つどいとの調整必要）
 - ・19年度：上記のバージョンアップ
通常施策への反映調整

【活動経過】

H17年度

(H17.6.30・7.14・7.28：天気村とびわたんのテーマ統合について話し合う)

第1回 (H17.8.18 環境学習支援センター 参加12名)

・課題認識について ・目指す姿について ・運営方法について

第2回 (H17.9.8 草津市まちづくりセンター 参加10名)

・目標設定について

第3回 (H17.9.16 草津市まちづくりセンター 参加5名)

・目標設定について

第4回 (H17.10.13 琵琶湖博物館 参加11名)

・目標設定について(各部員からの宿題提案)

第5回 (H17.10.28 合宿(旧日赤山荘) 参加10名)

・班分けの確認

第6回 (H17.11.10 草津市まちづくりセンター 参加8名)

・各班の内容検討

第7回 (H17.12.8 草津市まちづくりセンター 参加12名)

・各班の取り組み状況について

第8回 (H18.1.19 草津市まちづくりセンター 参加12名)

・各班の取り組み状況について

第9回 (H18.2.9 県婦人会館 参加11名)

・環境防災プログラムの内容検討 ・施設間連携の状況報告

第10回 (H18.3.9 草津市市民交流プラザ 参加8名)

・庁内連絡会議でのワークショップの内容検討 ・施設間連携の状況報告

H18年度

第11回 (H18.4.13 県男女共同参画センター 参加11名)

・環境防災プログラムの内容検討 ・施設間連携の内容検討

第12回 (H18.5.6 草津市ロク八公園 参加9名)

・草津市主催「子ども王国」で環境防災プログラム

「感・どーする!!生きるための知恵の輪」を実施

第13回 (H18.5.11 草津市まちづくりセンター参加7名)

・環境防災プログラムのふりかえりと今後の展開

・施設間連携の内容検討

第14回 (H18.5.23 県大津合同庁舎 参加10名)

・環境学習推進会議連絡員会議(庁内会議)で「つながりに気づき、つながりを築くワークショップ」実施

*各班部活...全体部活とは別に各班で適宜、協議・調査・調整を行っている。



5/6の様子(約400名が体験)



庁内17所属が参加

次回以降(6.8)全体部活...毎月第2木曜日に開催予定

【活動経過】

H17年度

- 第1回 (H17.8.26 県合同庁舎多目的室 参加17名)
・マイレージについて ・課題認識について ・目標について ・運営方法について
- 第2回 (H17.9.16 県合同庁舎3-C会議室 参加12名)
・ルールの確認 ・進め方について ・対象品目について
- 第3回 (H17.10.17 県合同庁舎多目的室 参加15名)
・対象品目の決定 (フード：米・麦・ほうれん草) ・役割分担の決定
- 第4回 (H17.11.4 県合同庁舎5-C会議室 参加14名)
・取り組みスケジュールの確認 (現状調査・事例検証・可能性評価調査)
- 第5回 (H17.12.15 しが協働ル～ム 参加11名)
・各班の取り組み状況 ・原木市場調査報告
- 第6回 (H18.1.17 しが協働ル～ム 参加8名)
・フードマイレージの取り組み検討
- 第7回 (H18.2.28 しが協働ル～ム 参加10名)
・フードマイレージの取り組み検討 原木市場調査の結果報告
- 第8回 (H18.3.30 しが協働ル～ム 参加9名)
・今年度のふりかえり

H18年度

- 第9回 (H18.4.24 しが協働ル～ム 参加9名)
・フードマイレージのアンケート調査・販売実験の検討
・ウッドマイレージの普及啓発方法の検討
- 第10回 (H18.5.23 しが協働ル～ム 参加10名)
・京都府「ウッドマイレージCO2認証制度」の勉強会 (講師：京都府担当)

次回(6.27)以降、月1回程度開催予定